

みみつ中央通信

コンビニやファーストフード店、スーパー等で売れ残った食材はすべて破棄すると聞いた。二月の恵方巻きやクリスマスケーキもそうだ。食べられるのに捨ててしまうことが日常茶飯事に行われている。これを「食品ロス」という。消費者庁の調べによると、毎日、十トントラックで1770台分を破棄しているそうだ。

先日、知り合いからこんな話を聞いた。スーパーで歳にして八十歳位のおばあさんが、カートを押しながら買い物をしていた。そこに、今までも気になっていたのか、若い女性が近づき、声をかけた。

「おばあちゃん、いつも一番手前にある食品をとって、カートに入れてるでしょ。以前から時々見かけて、気になってたんです。おばあちゃん、どうせ買うならこうやって日付を見て、出来るだけ新しい物を買うといいですよ。」

すると、おばあちゃんは、ニコッと笑って、

「親切にありがとうございます。」

とお礼を述べた。しかし、このおばあちゃん、次に来た時も、その次に来た時も同じように、一番手前の食品を買っていた。それを見かけた女性がニコニコしながら、また声をかけた。

「おばあちゃん、この前教えてあげたけど、新しい日付の物がいいですよ。」

すると、おばあちゃんは、女性に言った。「実はね、このお店は、私の教え子が経営しているの。そして、よく私に言っていたの。まだ、十分に食べられるのに賞味期限の過ぎた物を捨てるのは、もったいないってね。だから私は、少しでも古い物を買っているの。どうせ、帰ってすぐに、食べた

り飲んだりするから、新しくなくてもいいのよ。」

不思議なもので、ちよつと得をしようと考えると、人から見抜かれてしまう。そのちよつと得することを人に回してあげて、自分は、ちよつと損をする生き方をしてみたらどうだろう。周りの景色が違ってくるのが分かる。本を買いに行き平積みになっていると、一番上の本は買わずに、二、三



校長
鈴木利明

ちよつと損する人生を楽しむ

番目の本を購入する。人にプレゼントをする本でなければ、少しぐらいページが曲がっていても、何も影響は無いはずだ。

大きな駐車場に車を駐める時と同じだ。買い物店の入口から近い所はどうしても混雑する。そこから、少し離れた所には、駐車スペースがたくさん空いている。車のドアを開けるのも、隣の車を気にしなくてもいい。そこに駐めて歩いて、時間のロスは、一分もかからない。少しでも、遠い距離を歩けば、ちよつとした運動にもなる。入口付近は、必要としている人のために空けておけばいい。

そんなことを考えている時に、神様貯金という話を思い出した。元プロ野球選手、

桑田真澄さんの話である。彼は、期待されて「学園」に入学した。その時の、「学園」と言えば、甲子園で常に優勝候補とされていた高校である。しかし、期待されたにも関わらず、試合の度に打ち込まれた。そこで、彼のとつた行動は、誰も見えない時グラウンドを整備したり、トイレの掃除をしたり、ゴミ拾い等だった。そして、チャンスが訪れ、再びマウンドにあがった。ここで、不思議な経験をしている。相手のバッターに投げたボールをバットの芯で捕らえられるが、守っている野手の正面だったり、味方がファインプレーをしたりして、結果的に点を与えること無く、完封零点で抑えたという実に面白い話だ。

人は、どうしても自分に甘くなってしまう。少しでも得をしようと考えてしまう。

でも、この得は、徳ではない。少し得をしたとしても、徳にはならない。人として、得よりも徳を積む方が、心が豊か

になるような気がする。世の中には、損得を考えず、徳を積もうとも思わず、ただ世のため人のために良いことをしている人もたくさんいる。スーパーでのおばあちゃんも、損得を考えず、徳を積むために古い食品を買っていたのでは無い。そして、教え子の店長から「ありがとう」と言っただけで買っているのでもない。世の中には、良いことをして、「ありがとう」と言われたいと嫌な気持ちになる人がいるようだが、「ありがとう」と言われなくても、その時、徳が積まれたと思えば、気持ちもやさしくなれる。

あなたがこれから歩く、ちよつと損する人生の道は、笑顔という花で満開になる。

生徒の生徒による生徒のための生徒総会

令和元年5月24日(金)



～はじめに～

生徒総会とは「みんなで話し合い、みんなで物事を決定していく場」です。これから1年間美々津中学校をどうより良くしていくかを決める重要な会です。

皆さんが、本気で学校を良くしていこうと思っ
て積極的に意見を出せば必ず今までで一番
良い学校になります。

生徒会長 河野優

生徒総会での議題

「学力向上のためにどのような宅習をすれば良いか？」

「質の良い読書をするには、どうすれば良いか？」

各学年から、活発な意見やアイデアが提案されました。一人一人が真剣に考え、チームとなって同じ方向に向かうからこそ成果が期待されます。自分達が決めたことは、自分達でやり通す覚悟が必要になります。期待しています。

日向地区中学校総合体育大会

令和元年6月8日(土)・9日(日)



【大会結果】

○ 団体

女子バレー 優勝

(県大会) 7月13日(土)～

軟式野球部 3位

女子ソフトテニス ベスト8

男子卓球 4位

○ 個人

女子ソフトテニス個人

1位 串間・藤間ペア

2位 黒木・黒木ペア

ベスト8 是則・藤井ペア

個人戦3ペアとも県大会

(県大会) 7月21日(日)～

夏の中体連地区予選が終わりました。まずは、全力で戦った生徒達に感謝します。ありがとうございました。県大会に駒を進めた部活動と残念ながら進めなかった部活動があります。試合は、終わってからいろいろと考えるものです。ミスをしたくてミスをするのも負けたくて負けることもありません。すべて、その時にベストと判断されたことで勝負し、結果が決まります。そして、冷静に試合を振り返ると、悔しい思いがこみ上げてきます。だから、試合の後に「悔いが無い」ってことはありえません。悔いが残るからこそ、次のステージへのモチベーションが上がるのです。悔いが残るからこそ、人間は成長できるのです。何をするにも、このチャンスを生かして、自分の新しい人物語を作ってください。全国で活躍するトップアスリートの人達もそうやって成長しています。覚悟を決めて全力で挑戦すれば、いつか、「あの時のあのお陰で」って笑える日が必ず訪れます。人生は一度きり、それなら、全力で楽しまないともったいない。そんな思いがしています。

校長：鈴木利明